

各位

～夜間高速バスのさらなる安全性向上を目指して～

## 静岡県西部初「衝突被害軽減ブレーキシステム (PCS)」搭載の新車を導入

遠州鉄道株式会社（社長：斉藤 薫）では高速バス「e-LineR」において、新たに衝突被害軽減ブレーキシステム (PCS) を搭載したバス（いすゞ製）を 1 台導入し 7 月 26 日（土）より運行を致します。

PCS (Pre-Crash Safety プリクラッシュセーフティ) とは前方車両と衝突するリスク、また万が一衝突してしまった際の被害低減を目的とした機能で、遠州鉄道として当機能を搭載した車両を導入するのは初となります。（静岡県内のバス事業者としては 2 社目）

このほか、「ドライバーモニター」、「車線逸脱警報」といった新たな安全装置を取り入れ、高速バスにおける更なる安全性の向上をはかります。

下記が詳細となりますので、是非ご案内方、お取り計らいの程、宜しくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 導入目的

遠州鉄道では平成 26 年 3 月 21 日より浜松・横浜間を往復する夜行便を金・土・日・祝日の期日限定で運行をしておりましたが、需要の盛り上がる夏休み期間（平成 26 年 7 月 18 日～8 月 31 日）は毎日運行を実施します。一方で高速バスの安全性に対するお客様の評価は日々厳しいものとなっており、これにお応えすべく、快適・安心してご乗車いただける新規車両を導入することと致しました。今後導入していく車両については今回同様の安全装置が搭載された車両とし、最終的には全ての高速便において安全装置のついた車両で運用することを目指します。

#### 2. 導入車両に新たに搭載される安全装置

##### (1) PCS (衝突被害軽減ブレーキシステム)

PCS とは、前方車両との衝突時の速度を抑え、衝突被害のリスク軽減に寄与するシステムです。走行中、車両前方のミリ波レーダーが常に前車両を検知し、万一追突の恐れがある場合には警報やブレーキ作動で注意を促し、追突の可能性が高くなるとより強力なブレーキが作動します。

<PCS のポイント >

##### 【衝突回避支援機能】

・前方の低速走行の先行車を検知し、追突の恐れがあると警報やブレーキ作動で 注意。より危険が高まると早いタイミングで強いブレーキが作動。

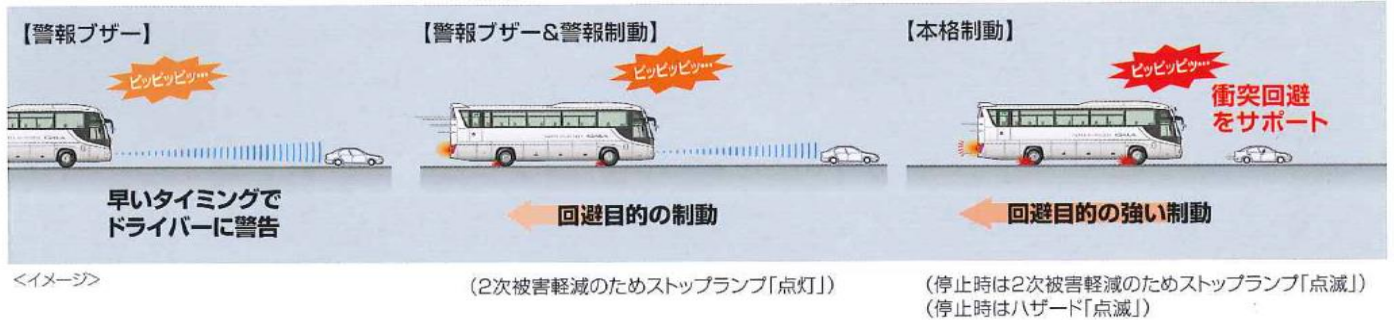
### 【衝突被害軽減機能】

- ・追突の恐れがあると警報やブレーキ作動で注意。危険が高まるとより強力に制動。
- ・衝突後も制動を継続し被害を軽減。
- ・ストップランプ、ハザードランプの点滅で2次被害防止を支援。

### 【衝突回避支援機能】

先行車が動いているとき 警報・制動の早期作動により、衝突回避を支援

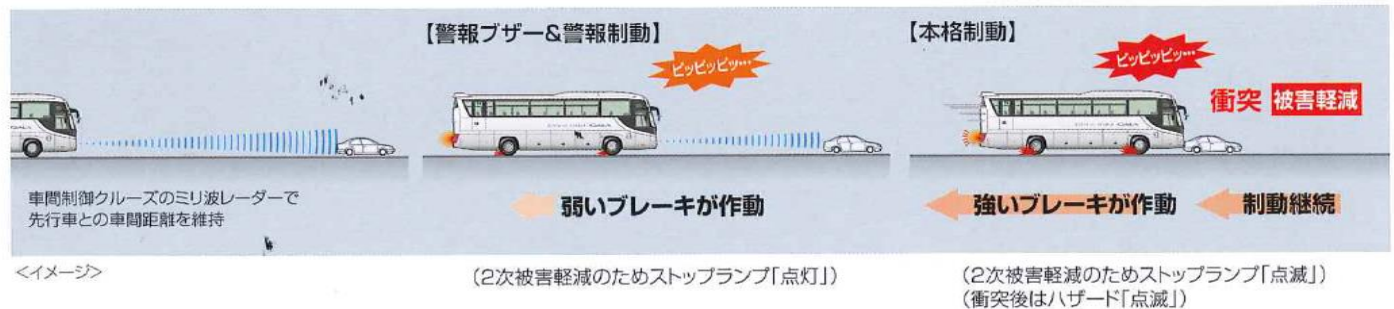
- 1 ミリ波レーダーが前方の低速走行車を検知 追突の恐れがあるとドライバーへ警報が作動
- 2 追突の可能性が高まると警報+回避目的の制動が早期に作動
- 3 さらに追突の可能性が高まると、より強い警報と本格制動を作動させ衝突回避をサポート



### 【衝突被害軽減機能】

先行車が止まっているとき 走行状態を検知し、衝突時の被害を軽減

- 1 ミリ波レーダーが先行車との距離を常時認識
- 2 追突の可能性のある距離になると、警報音と弱いブレーキの作動によりドライバーに注意を喚起
- 3 危険回避が行なわれず追突避けられないと判断すると、強いブレーキが作動し追突被害を軽減



### (2) ドライバーモニター

走行中のドライバーの顔の方向や眼の状態をモニターカメラが常時確認。前方注意力不足の検出時には警報音で警告します。さらに衝突の可能性が高まると PCS が早期に作動。PCS と連携し、前方の危険をいち早く乗務員に伝えます。

### (3) 車線逸脱警報

車線からの逸脱を画像センサーがとらえ、警報によってドライバーの注意を喚起するシステムです。高解像度の画像センサーによって、白線の高い認識精度を実現。ドライバーの注意力低下による事故防止に貢献します。

以上